



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第38回例会(5月10日)
令和元年5月17日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



新人会員卓話

東日本大震災発災、その時盛岡駅は？

佐藤 年男 君

盛岡ターミナルビルの佐藤です。

テーマ「東日本大震災発災、その時の盛岡駅は？」と題して、当時の状況をお話したいと思います。

何の役に立てるかは疑問ですが、何かのお役に立てれば幸いです。

震災から8年が経過、復興は道半ばではありません。その中3月23日被災線区の山田線が三陸鉄道リアス線として開業し、復興に向けて加速され地域の活性化に貢献していただけるものと期待しております。

東日本大震災が発生しました2011年3月11日、私は盛岡駅長でした。

■盛岡駅長と盛岡地区駅長

盛岡駅長には、「盛岡地区駅長」というもう一つの役割があります。「盛岡地区駅長」は、盛岡地区エリアも管轄することになっております。

■盛岡地区エリア

盛岡地区駅長としての管轄範囲は非常に広い範囲となります。

その範囲は、東北新幹線は二戸駅まで、東北本線は日詰駅まで、田沢湖線は赤舘駅から県境の山の中にあります「大地沢信号場」、山田線は盛岡～宮古～陸中山田駅まで、花輪線は好摩～東大館までの各駅と、エリア内にある運輸職場、設備職場の各現業箇所を管轄しております。

■2011年3月11日当時の状況

震災が発生した当時は、その前の年の12月4日に東北新幹線新青森開業があり、震災1週間前の3月5日には「はやぶさ号」がデビューしていま

す。(300k/h → 現在 320k/h)

また、震災翌日の3月12日には九州新幹線「博多～鹿児島中央間」が開通しました。こちらではその報道もありませんでした。

■14時46分 東日本大震災 発災

駅長室で執務をしていた14時46分地震が発生。

繰り返される大きな揺れ、3分間と言われていますが非常に長い時間の揺れ、非常に恐怖を感じました。

マグニチュード7以上の大地震が30分の間に4回相次いで発生。

その他にも大きな地震が広い範囲で発生したことがわかります。

■全館避難

震災発生後、まず駅構内の全てのお客さまを滝の広場に避難誘導すること、同時に駅設備の被害状況の確認を指示しました。駅構内全てのお客さまを滝の広場に避難誘導するのは初めてでした。※宮城・岩手内陸地震の時も新幹線のお客さまは「ホームからコンコース」、在来線のお客さまは「ホームから改札口の外へ」。

また、地区指導センターにはエリア内各駅の社員の安否と駅施設等の被害状況の確認、特に沿岸の宮古駅、津軽石駅、陸中山田駅には「津波を想定し避難する」ように指示。

また、エリア内を走行中の列車の運転状況確認を指示しました。

■避難場所での対応

滝の広場には多数の避難者が集まっていたので、情報伝達として放送設備を設置すること、

避難者の寒さ対策として毛布の配布を指示しました。毛布は350枚しか常備しておりませんでしたので、皆様に配布することはできませんでした。お知り合いの方等1枚の毛布に何人かであくまっで凌いでもらいました。

■避難場所の確保

そのうちに雪が強くなり毛布に雪が積もりだしたので、外での避難は限界と感じ、余震がきた時は外に出ることをお願いして、駅の中に誘導しました。駅構内ではこの寒さを凌ぐのは無理があると判断、駅周辺の広域避難場所となっている桜城小学校、城西中学校へ社員を派遣し受入れを要請。「耐震補強していない。」ということで受入れが断られました。同時にホテルメトロポリタンの状況も確認しましたがロビーが避難者で溢れているということでした。

※マリオスは、洪水の避難場所に指定されていますが、それ以外の避難場所にはなっていない、ということがわかりました。

■指定広域避難場所

マリオス、アイーナへの避難者受入を要請しましたが、対応力の問題等もありお断りされましたが、17時頃にマリオス、アイーナで受入可能ということで誘導しました。

※今でいう「帰宅困難者」の受入方、未整備。

■地区エリア内の状況

地区エリア内の状況は、各駅ともに社員の安否が確認でき、駅施設には大きな被害もないこと、宮古駅、津軽石駅、陸中山田駅には避難指示をしました。津軽石駅は列車のお客さまと一緒に広域避難場所に避難したことを確認。陸中山田駅は3名とも避難場所に避難するということを確認。その後連絡が取れず。

地区内の各線区の列車の状況は、新幹線2本在来線7本、が駅又は駅と駅の間に停車していることがわかりました。

※この後陸中山田駅社員との連絡が途絶え、3日目に駅長が歩いて宮古駅に来て3名とも無事であることが確認できました。避難場所に津波が襲来し、さらに高台にある駅長社宅に避難することができ難を逃れたこともわかりました。

■地区エリア内の列車の状況（在来線）

○東北本線

・岩手飯岡駅 1539M 701系2両 乗車数100名 → 駅で降車していただきました。

・岩手飯岡～仙北町駅間 2534M701系2両乗車数106名 → 停車したところで下車、近くの踏切から移動。

○田沢湖線

・春木場駅 835M 701系4両 乗車数31名 → 駅で降車。

○花輪線

・柴平駅 1931D 110系2両 乗車数33名 → 駅で降車

・八幡平駅 1932D 110系2両 乗車数20名 → 駅で降車

※駅に停車中に地震が発生したことも幸い。

※一部タクシーで移動してもらいました。皆さんを案内することは困難。

○山田線・平津戸～松草間 3652D 110系2両 乗車数17名 → 盛岡からタクシーで救済。

但し、宮古市内で行けるところまで。

・津軽石駅 1637D 110系2両 乗車数20名 → 乗務員による避難場所まで誘導済。その後の津波で車両が流されている。

※沿岸各駅には、津波が来た場合の駅最寄りの避難場所を掲出していた。乗務員は各駅からの避難場所マップを携行。

※チリ地震津波から45年（2005年、H17）、津波対策の現状というNHKの特番の取材を契機に実施。

■地区エリア内の列車の状況（新幹線）

○東北新幹線

・59B盛岡～新花巻駅間 乗車数98名 → 21:08降車開始。バス乗車 → マリオス・アイーナ23:00過ぎ到着

54名アイーナに避難。

盛岡止まりのやまびこ、盛岡までのお客さまが多数と想定。夜間帯でしたが、盛岡駅まで案内でき殆どの方が自宅等へ移動可能。

・3028B 盛岡～新花巻駅間 乗車数780名

・避難線路敷歩行、降雪、荷物、子供・高齢者→車内泊。車内に案内社員、仮設トイレ、食事・飲料、毛布等積み込み

救済現場バス配置、7:55救済バス発車、順次マリオス・アイーナへ避難

最終バス・アイーナ着13:00。バス16台、780名

※マリオス、アイーナからは「もう受け入れられない」とお断り。上田公民館なら受入可能。避

難者が分散すれば情報提供等ができなくなるので、受入の要請。早朝からの折衝、バス到着と同じ時にOK。

■避難場所の状況

○避難場所、マリオス・アイーナの状況

一番多いときは「足の踏み場もないぐらい」避難者で溢れていました。マリオスも同じ状況でした。

■避難者の対応

○3月12日19:00 避難者の対応方決定（盛岡支社対策本部）

東京方面の救済ルート 「バス～羽越線酒田駅～羽越線特急～新潟上越新幹線～東京方面」と決定

○3月12日21:00～避難者に対する説明（マリオス・アイーナ）

バスが17台しか確保できていないこと、救済順番を遠くの方から①東京方面②仙台駅③青森駅④八戸駅⑤秋田駅⑥一ノ関駅の順。但し、途中でバスがなくなれば改めての案内と伝える。

○3月12日14:00 避難者の対応方について検討開始（盛岡支社対策本部）

東京方面のバスのルートとして国道4号線OR高速道路の復旧を待つか等

○バスの案内方～バスの確保が非常に厳しいこと。

遠い方からの救済、バスがなくなったら一旦案内を中止すること、新たにバスが確保できたら案内することを繰り返し放送。ご理解を得た。

■避難者の救済開始

○3月13日

6:00 酒田行きバス発車、11台447名

7:36 仙台行きバス出発、2台98名

8:20 青森行きバス出発、1台33名

8:25 八戸行きバス出発、1台18名

8:51 秋田行きバス出発、1台13名

9:07 一関行き、1台9名

合計 バス17台、618名

※乗車時におにぎり、パンと飲み物をお渡し。

■東北新幹線旅客救済の流れ盛岡支社の全体

○東北新幹線旅客救済の流れ

東京方面については、盛岡駅・八戸駅・一ノ関駅からの避難者をバスで酒田駅へ。盛岡支社全体で合計バス20台、お客さま837名救済。

■運転再開

○3月15日（火） 田沢湖線 盛岡～赤湊間再開

○3月16日（水） 東北本線 盛岡～花巻間再開

○3月17日（木）

東北本線 盛岡（花巻）～北上間再開

○3月18日（金） 田沢湖線 盛岡～大曲間再開（盛岡～秋田間こまち号運転）

山田線 盛岡～上米内間再開、花輪線 好摩～松尾八幡平間再開

○3月19日（土）

花輪線好摩（松尾八幡平）～大館間再開

○3月20日（日）

東北本線 盛岡（北上）～一ノ関間再開

○3月22日（火）

東北新幹線 盛岡～新青森間再開

○3月26日（土）

山田線 盛岡（上米内）～宮古間再開

○4月7日（木）16:00 東北新幹線 一ノ関～盛岡間再開（一ノ関～新青森間運転再開）

3月20日には東北本線が盛岡～一ノ関間で運転再開。東北新幹線では3月22日盛岡～新青森駅間、そして4月7日16時には盛岡～一ノ関駅間が運転再開、盛岡支社エリアの新幹線が繋がりました。

■4月7日 23時32分 最大余震発生

また、振り出しに戻りました。被害も大きく気持ち折れそうになりました。

■東北新幹線東京～新青森間再開

○4月29日

東北新幹線 東京～新青森間全線再開（50日めの全線運転再開。ゴールデンウィーク）

秋田新幹線 東京～秋田間全線再開

■盛岡駅の一歩列車の出迎え風景

○盛岡駅の出迎え風景

東京発一歩列車は、「つなぎ温泉・鶯宿温泉のおかみさん」を始め、観光関係者でホームとコンコースで出迎え、お茶等のちょっぴりプレゼントを行い出迎えました。

「お帰りこまち」の出迎え、沿道ではたくさんの地域の方々が「こまち」に手を振って、東京とつながったことを喜んでいただきました。

■自粛ムード払拭イベントの開催

○自粛ムード払拭イベントの開催（震災後初）

自粛ムードを変えないと地域経済が疲弊してしまうとの危機感。盛岡商工会議所等と打開策としてのイベント開催等について検討。

震災後初めてのイベントとして5月3日に開催した「おいでよ 岩手・盛岡へ」の様子。日常生活を取り戻そう、という大きな一歩を歩んだ瞬間でした。

※県知事の自粛ムード払拭の会見が4月14日にあるという情報。商工会議所とイベント等の打ち合わせ。GWには何とか開通させたいと復旧工事を行っていること、自粛ムードを変えるためのイベント開催しようと相談、5月3日に開催することができた。

■東日本大震災からの教訓

東日本大震災からの教訓（発災当時）

- ～ 風化させてはならないこと
 - 「安全」は「人の命を守る」こと
 - 日常が一瞬にして「非日常」
 - ～ 日常に対する感謝の気持ち
 - 日常生活を支える鉄道の役割の大きさ
- ご清聴ありがとうございました。

例会報告

第38回例会
令和元年5月10日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 長野隆行副会長
- ・国家 君が代
- ・ロータリーソング（奉仕の理想）
- ・ビジター
小野寺則雄さん（二戸R.C.）
- ・ゲスト
石橋ますみさん（地区グローバル補助金奨学生（仙台RC推薦））
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・入会祝 小川 惇・金沢 滋・中村芳樹君
- ・誕生祝 吉田幸一・田中堯史・西島光茂君

- ・結婚祝 田中堯史・白石 茂・長谷川桂・大平騰一・菅原浩幸君
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・終了後理事会
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

◆藤村吉隆君…田中ガバナー、白石佐藤両実行委員長のもと、会員一丸となって80周年、地区大会と坂本年度の大きな波を無事乗り越えたところで個人的にもう一つ大きな波が控えております。私の所属する全国宗教用具協同組合の総会が盛岡で開催することとなり、地元ということで実行委員長を拝命しております。つきましては総会后に記念講演を一般公開で開催予定となっております「実行委員長」兼「動員係」として

て関係各位にお声がけをさせていただいております。

全国からお越しの全宗協の皆様には岩手の魅力をお伝えするのみならず、この機会をいかして地元の皆様にも岩手の魅力の再発見になればと考えております。

入場無料ですので都合のつかれる方、興味がおありの方はぜひロータリーの友情に免じてご聴講頂きたくニコニコいたします。

◆田中堯史君…ロータリー財団奨学生石橋ますみさんの新たな旅立ちをお祝いで！

- メイクアップ
地区=伴・福田・橋本・勝部・熊谷（祐）・佐々木・土屋君
クラブ委員会=畠山君

出席報告

会員数/76名

出席数/47名

出席率/65.28%

前々回/80.56%



プログラムのお知らせ

- ・5月17日(金) ゲスト卓話 両川いずみ様（子育てネット）
「私たちの新たな模索」～子育て支援の質を求めて～
- 24日(金) 特別休会
- 31日(金) 卓話
- ・6月7日(金) ゲスト卓話 インクルいわて
- 14日(金) 第4回クラブアッセンブリー

●本号編集担当/土屋 克之